

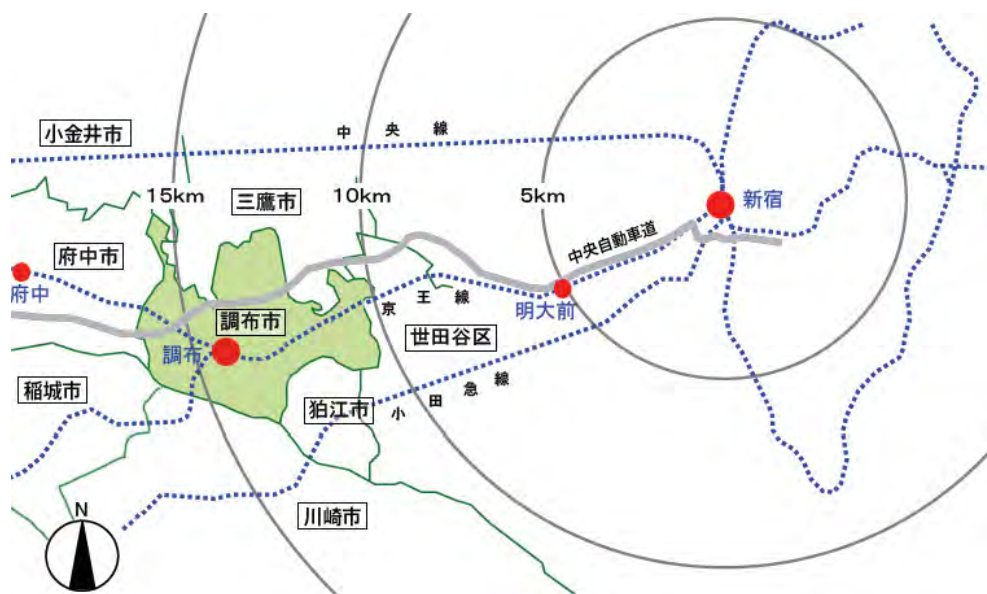
第1章 景観特性

1 調布市の概況

(1) 位置

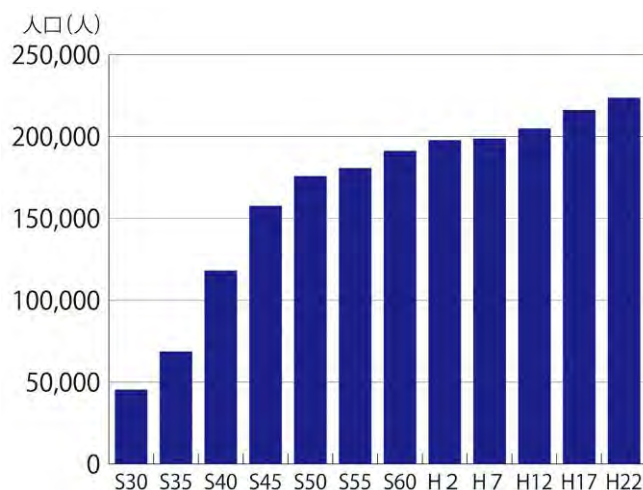
調布市は、新宿副都心から約15km圏内に位置し、市の北は三鷹市、小金井市、東は世田谷区、南は狛江市、多摩川をはさみ稲城市、神奈川県川崎市、西は府中市に接しています。

市域は東西約7km、南北約5.7km、面積は21.53km²となっています。また、市中央部を東西に京王線、甲州街道（国道20号）が走り、これに沿うような形で市街地が形成されています。



(2) 人口

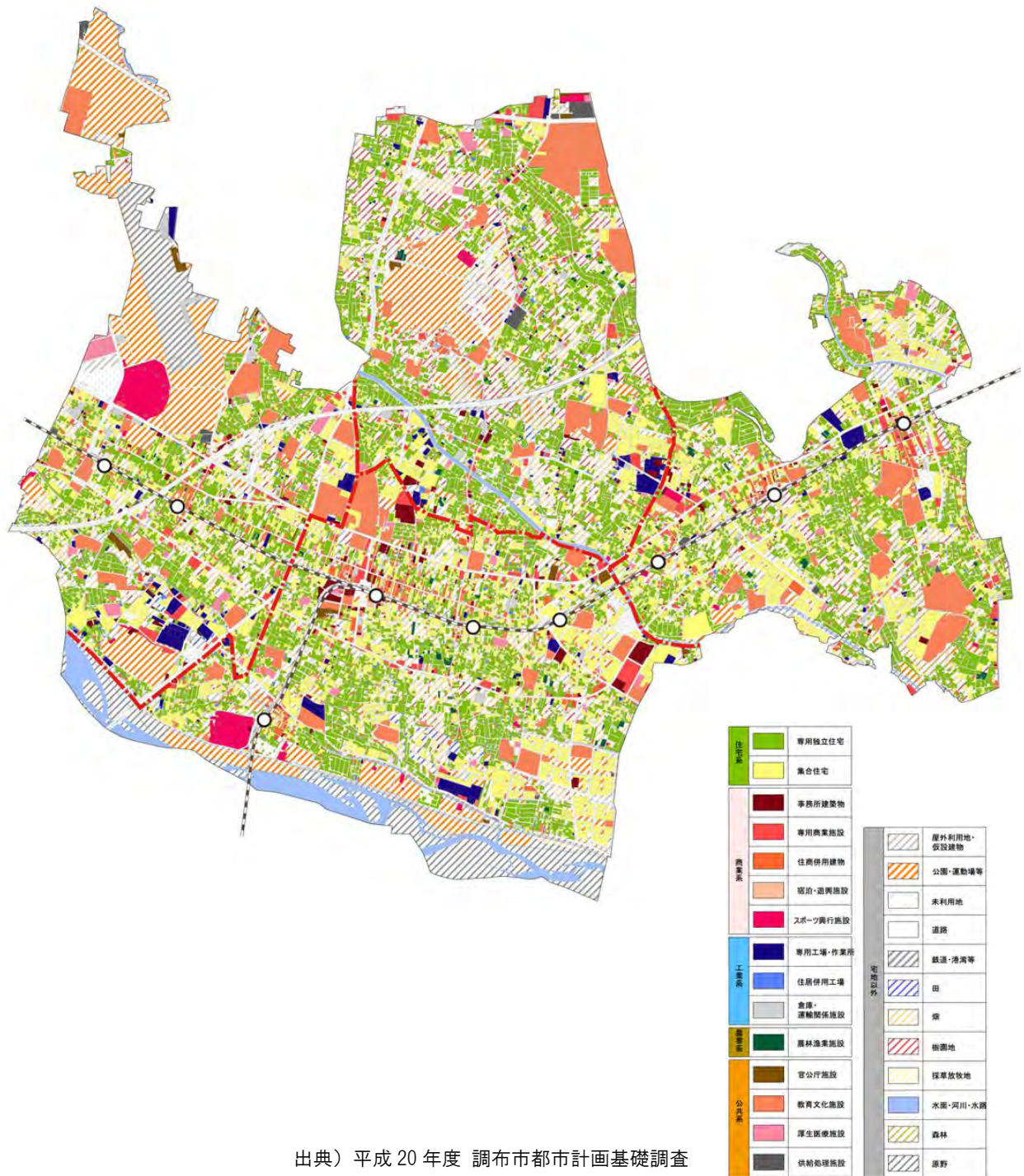
調布市の人口は、市制施行の昭和30年（1955年）の約4万5千人から、昭和39年（1964年）に10万人、昭和44年（1969年）に15万人を突破しました。昭和60年代には人口増加は緩やかとなりましたが、平成12年（2000年）には20万人を超え、45年間で約4.5倍に増加しています。平成22年国勢調査による本市の人口は、約22万人、約11万世帯となっています。



出典) 国勢調査

(3) 土地利用

平成 20 年度の調布市都市計画基礎調査の結果では、調布市全体の土地利用構成は、住宅系が約 35.3%（戸建住宅：約 20.9%，集合住宅：約 14.4%）を占めており、その割合は年々増加している一方で、都市農地や緑地などの住宅系以外の土地は年々減少しています。



出典) 平成 20 年度 調布市都市計画基礎調査

(4) 地形的特徴

①地勢

調布市は、武蔵野台地の南西部に位置しています。市内で最も高い地点は、深大寺北町六丁目付近で海拔 56m、低い地点は、南の染地三丁目の多摩川沿いで海拔 24mとなり高低差は約 32mとなっています。この高低差をつなぐ斜面、「国分寺崖線」と呼ばれ、崖下からは地下水が湧き出し、市内の中央部を流れる野川などの水源になっています。

②崖線樹林地（国分寺崖線、布田崖線^{※1}、仙川崖線^{※2}）

調布市の緑の骨格となっている国分寺崖線、布田崖線、仙川崖線は、動植物の生息環境、ヒートアイランド現象の緩和など、大きな役割を果たしています。また、これら崖線樹林地は涵養機能が高く、雨水を地下に浸透させることで河川への急激な流出を防いでいます。

^{※1} 立川崖線（府中崖線）の延長として、市内飛田給、品川通り南側から狛江市境までの崖線区域の呼称。

^{※2} 市内国分寺崖線のうち、仙川沿いにある崖線区域の呼称。

③河川（多摩川、野川、仙川、入間川）

調布市は、南縁約 4 kmが多摩川に面し、現在は高い連続堤によって流路が固定されています。野川は、国分寺市内の湧水を水源とし、国分寺崖線に沿って小金井市、三鷹市を経て調布市に入り、深大寺城跡の南側を東南に流下しています。仙川は、小金井市内を水源として、調布市の東北端を貫流して世田谷区に入り、野川に合流し、入間川は、三鷹市南部から東つつじヶ丘と若葉町の境を流れ、入間町で野川に合流しています。

(5) 緑の現況

市内には、神代植物公園、多摩川河川敷、野川公園などの大規模な公園緑地やオープンスペースが点在しています。また、樹林地、田畑などの農地が残り、農地の 8 割以上が生産緑地地区に指定されていますが、相続の発生などによりその面積は年々減少しています。

緑の基本計画（平成 22 年 7 月調査）によると、屋敷林、山林、田畑、草地などの緑に直接覆われた土地を指す緑被地の面積は約 690ha、緑被地面積が市域面積に占める割合である緑被率は 32.0%となっています。

2 景観特性

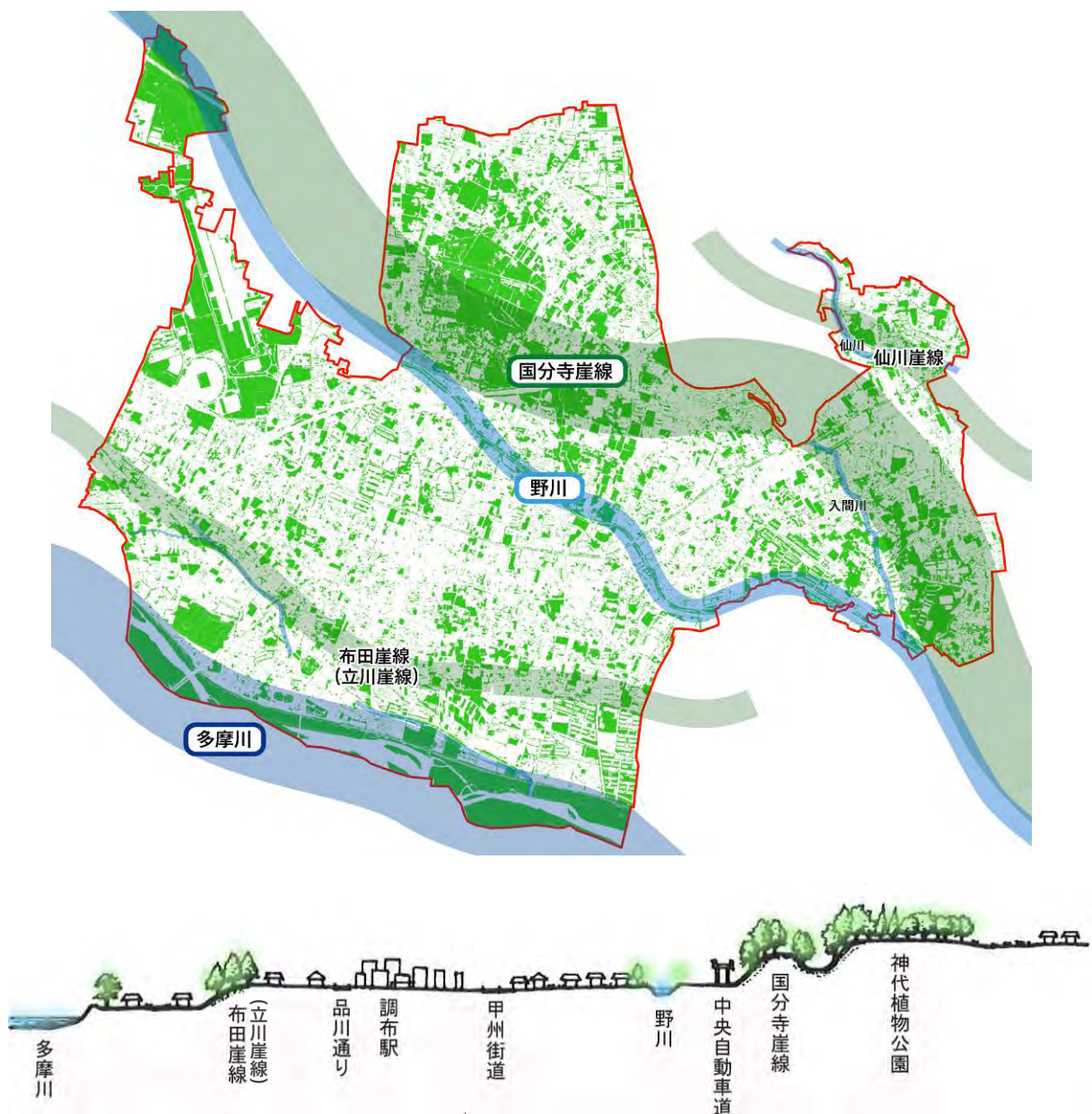
調布市の景観特性を以下のとおり整理します。



(1) 地形変化が生み出す多様な景観

市域の東西方向に連続する国分寺崖線と多摩川, また多摩川低地から武蔵野段丘面へ向けて約 30m以上の高低差が生み出す南北方向の多様な地形変化が調布らしい景観をつくる骨格となっています。

- 1) 国分寺崖線と多摩川がつくる市の東西方向に連続する骨格となる眺望景観
- 2) 南北方向の多様な地形変化が生み出す身近な眺望景観
- 3) 野川などの市街地を流れる身近な水辺景観
- 4) 大小の坂道と崖線緑地がつくる景観



1) 国分寺崖線と多摩川がつくる市の東西方向に連続する骨格となる眺望景観

ハケと呼ばれる国分寺崖線に分布する雑木林を中心とした斜面地は、貴重な自然景観を残す樹林地であり、調布市の特徴的な景観をつくり出しています。また、市域の南縁約4kmが多摩川に面し、市民生活の憩いの場となっています。



調布基地跡地運動広場から国分寺崖線への眺望（遠景）



野川大橋から入間町方面の国分寺崖線への眺望（中景）



多摩川堤防から二ヶ領上河原堰^{せき}方面（多摩川下流）への眺望



多摩水道橋（狛江）から国領町方面（多摩川上流）への眺望

■多摩川対岸から調布市方面への眺望



多摩川三丁目方向への眺望



市役所方向への眺望



国領町方向への眺望

■調布市側から川崎市方面への眺望



文化会館たづくり上階から多摩丘陵への眺望



多摩川堤通りから多摩丘陵への眺望

2) 南北方向の多様な地形変化が生み出す身近な眺望景観

崖線の地形変化による様々な眺望景観が市内各所にあり、空の広さや緑量を感じる調布市の特徴的な景観をつくり出しています。



都道 114 号から国分寺崖線への眺望



明照院脇から国分寺崖線への眺望



下布田遺跡付近の眺望



神代中学校横から市街地への眺望



深大寺南町から市街地への眺望



入間町から国分寺崖線への眺望



深大寺元町から中央自動車道方面を望む